

# 建設新聞

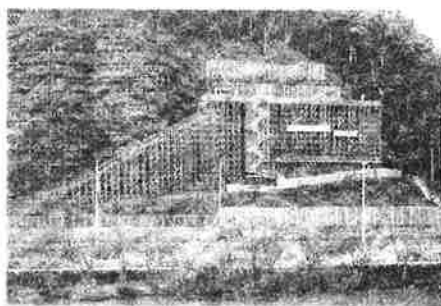


発行所  
建設新聞社

〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-5  
市外局番(022)221-下記番号  
総務部 4601  
FAX221-4633  
編集部 4602  
FAX217-4170  
編集事業部 4603  
FAX221-4637  
営業部 4604  
FAX268-6416  
編集事業部情報室 4606  
FAX221-4637

©建設新聞 2013

## 日綜産業 作業時間短縮、 安全施工に効果大 山形県 鶴岡市 機械構台法面8号が活躍



法面8号の全体。上に2段見えるのが設置完了した雪崩予防柵

東北地方整備局酒田河川国道事務所発注の熊出地区防雪工事の現場で、日綜産業の法面機械構台システム足場工法法面8号が活躍している。

岡市熊出地内で一般国道112号に近接した急斜面に、雪崩予防柵を設置するもの。施工は大栄(鶴岡市)が担当し、工期は7月11日から2014年1月20日まで。予防柵の

規模は、1基当たり高さ2、700mm×長さ30mで、これを4段設置する計画となっており、11月末までに上から2段が完成(進捗率75%)している。

法面8号は、予防柵を設置するためのボーリング工用構台として約150分が採用されている。施工場所は、平均斜度が55度と人が立つていけないほどの急斜面で、地盤が固い箇所も随所に見られるなど設置作業には困難を要し

たが、地元で各種仮設工事等に多くの実績を持つ有賀組の協力もあり、およそ2ヵ月で組み立てが完了した。また、構台の向かって左側には材料運搬用のモノレールを設置。そのため、全体がまるでジェットコースターのように、近くを通る山形自動車道からも良く見えることから多くの注目を集めていた。

今回、同現場で採用した法面8号は、国土交通省のNETISにも登録されており①組立・解体がハンマーだけで作業できるためスピーディー②構台作業床の外周に手すり・幅木の設置が可能で安全

に施工できる③組立後、重機や削孔機の振動によるクサビの緩みがない④製品の表面は溶融亜鉛メッキ処理しており、防錆性・耐久性に優れる⑤各部材は最小限・最軽量の大きさにより人手による運搬が容易⑥といった特長がある。すでに、全国の災害復旧工事現場などで活躍しており、大栄の大滝修二土木部工事部長も「足場を当初計画の単管パイプから法面8号にしたことで、作業時間が大幅に短縮でき、部材も少なく済んだ」とシステム足場の効果を高く評価していた。